

令和5年度 (一社) 犬山祭保存会理事会 第1回 議事録

●日時

令和5年5月6日(土) 19:00~20:30

●場所

IMASEN 犬山からくりミュージアム玉屋庄兵衛工房 2F

●出席者(敬称略)

【常任理事】会長(石田)、会長代行(多和田)、副会長(大澤、澤野、長谷川、小林、前刀)、会計(下山)、財務委員長(今井)、伝統文化委員長(市橋)、伝統文化副委員長(長井)、てこ委員長(浅野)、てこ副委員長(陸浦)、企画広報委員長(松田)、企画広報委員長代行(齐木治郎)、企画広報副委員長(柴田、林)、専務理事(溝口)

【理事】枝町組理事(土屋)、魚屋町組理事(小川)、下本町組理事(松岡)、中本町組理事(栗谷)、熊野町組理事(浅野)、新町組理事(櫻井)、本町組理事(安田)、練屋町組理事(小島)、鍛冶屋町理事(市橋)、名栗町組理事(森)、寺内町理事(三輪)、余坂組理事(水野)、外町組理事(伊藤)

【企画広報委員】齐木美加、前田、梅田

【その他】保存会事務員(竹村)

●議事

I. ①会長挨拶 ②報告事項

II. 議題

① 今年度祭礼の総括

② 総会準備

③ その他

●配布資料

- ① 今年度祭礼の総括
- ② 次回理事会等のご案内
- ③ 本町車山蔵修理の為の車山移動について
- ④ 春の全国交通安全運動行事へのご参加依頼
- ⑤ 13町内の車山蔵見学(北小白帝ワーク)

●議事内容

I.

① 会長挨拶

・会長： 新年度の新しい体制でスタートを切った。以前から、議論の蓄積のために、理事はなるべく2、3年は同じ方にやっていただきたいという希望を述べているが、各町内のご事情もあり、なかなか実現されないところもある。新年度を迎え、新しく理事に選出された皆さんには、よろしくお願い申し上げます。

今年の祭はかつてないほど盛大なものになった。私も幼少から太鼓をたたき、笛を吹き、全てのことをやってきたが、過去にないほど二日間天候に恵まれ、この三年間コロナで隠忍自重した我慢が爆発したような素晴らしい祭だった。色々な方からも、今年の祭りは良かったというお声をいただいた。

本日も、祭の余韻が冷めやらぬうちに、今年の祭でよかったところ、来年に向けて改めた方が良いところなど、率直なご意見をいただいてより良い犬山祭に繋げていきたい。

犬山祭保存会のコンセプトは、城下町の発展、住む人たちの幸せのため、犬山に魅力を感じてもらい楽しい気持ちで来てもらう人たちのための祭である。城下町にもかつてないほどの人が来ている。先日のテレビで、全国の城下町の中で評判の良いランキングの5番目に入っていた。連休中も非常に多くの方がみえていて、なぜこれほど観光客が来てくれるのかということも深く考えながら祭をやっていきたい。流行も大事だが基本も忘れないようにしたい。

先日も、てこ委員会、伝統文化委員会、企画広報委員会の方々と食事会を行い、率直な意見交換をした。とても前向きな意見ばかりで楽しい時間だった。現状に満足せずどうすれば良いのかといった意見がたくさん出た。保存会は家族、仲間のように

な会であり、城下町の在り方をリードしていくと考えているので、この理事会もその延長線上として建設的なご意見を頂戴したい。

また今年秋には秋の犬山城下町まつりと、祭屋台等技術者会等もある。皆で勉強して考える機会にしたい。そのようなことを含めつつ今回の理事会もお願いしたい。

- ・会長代行：新年度に入り、理事が変わられたご町内にご挨拶いただく。
- ・新町：本年度新町組理事をやらせていただく。しばらく保存会の活動から空いていたが、今年からまた理事を務めさせていただくのでよろしく申し上げます。
- ・余坂：今年から初めて理事となります、よろしく申し上げます。今年の祭について、町内として一言申し上げることがあるため、後ほど話をさせていただく。

報告事項

- ・てこ委員長：昨日、尾張富士の預け子祭を見に行ったら、桜太鼓をやっていた。代表の方からお礼を伝えて欲しいとのご伝言を承ったので報告させていただく。
- ・伝統文化委員長：犬山にお住まいの人から、お囃子をやりたくて、どこかの町内に入れていただけないかというお話を、二名の方からいただいた。各町内で、若い衆の人材不足で困っているというご町内がありましたら、先方と調整させていただきたい。

II. 議題

① 今年度祭礼の総括

- ・会長代行：今年度祭礼総括ということで、各理事さんからご報告をいただきたい。
- ・鍛冶屋町：宵祭について、どんでん館で照明をつけて行った。一人二人しか入ってこられなかったが、説明をさせていただいた。また試楽本楽と続けて天気にも恵まれて、朝から夜まで出来たのが良かった。総合的に考えて、からくりの時間が10分ということで、スケジュールの配分等難しいこともあるかと思うが、もう少し時間があると、観客の方からからくりを見ていただけるのではないかと思った。
- ・寺内町：宵祭は照明をつけて町内の人とてことでやらさせていただいた、もっとお客さんが来られるかと思ったが、今回は身内で楽しませていただいた。もう少し外

からお客さんが来られると良いかと思った。試楽本楽については、からくりが二日間とも一度も成功していないので、そういうところで時間がかかるのかなと思う。また、本楽の夜車山について、もう少し自分達で警備をできていければ時間の短縮になるのではないかと思った。

- ・中本町：町内では事故がありご迷惑をおかけした。本楽の夜に、名栗町の角で車切りをやっている時に、警固の方が、車山の輪の下に足が挟まってしまった。今後は町内でも、警固は車山に触れないで、てこと当番のみでやるということの確認はした。今後このようなことがないようにしていく。

祭について、二日間天気に恵まれ皆さんで楽しんでやれたと思う。宵祭についても、色々意見はあったがやって良かったと思う。町内で話をしたが、13輦を神社前で夜車山をそろえたいというのは皆さんが思っているので、今後の検討課題としていただきたい。また、中本町は通りに面しているので、屋台、キッチンカーの旗などについて、規制ができないのかという話が出てきている。市役所にも働きかけはしているが、そういった規制のルールが出来れば、あそこに住んでいるものとしてはありがたいのでよろしく願いしたい。

- ・名栗町：名栗はどんでん館の中で照明を当てて宵祭を行った。観光客のお客様にも説明をすることもあった。試楽本楽とも二日間天候も良く、自町内では事故等もなく行うことができた。

御神輿について、本楽で時間が迫って、町内に車山がついてから御神輿が見えるはずだが、町内の車山がまだ来ていないので、簡単な接待をお宮ですが、御神輿の出発が遅れると戻るのが遅くなるので、これが常態化するのなら、そういったことを伝えていただければと思う。

また町内で車山を運行をしているときに、子供を中山に乗せた者がいた。保存会のルールとして、運行中の車山に子供は載せないのではという意見もあったので、そこは他の町内でもどうなっているのかというのは確認したい。

それ以外に関しては、楽しくやらせていただいた。

- ・外町：宵祭は、観光客は来ないと分かっている状況で、場ならしのような状態でやれるので、今後も続けたい。お祭はまともに行うのは三年ぶりということで忘れていたりや引き継いでいないところもあり、引き継ぐことが大事だと思った。また時間について、試楽の朝に間に合うように行っているが、城前広場で詰まってしまい急ぎようがないという感じになってしまうので、間に合うような時間の予定にしていきたい。イベントが始まってから車山が着いてしまうということになってしまう。本楽も一時間半近く遅れて出発するという状況で、神様が出て行ったあとの奉納になってしまったり、久々で救急車が来たりなど、仕方ないこともあると思うが、暑い中で子供が山の中で待たされたりなど問題もあったので、時間については検討していきたい。
- ・練屋町：祭は二日間とも良い天気は無事終わって良かった。内容については、三年間やっていなかったこともあり戸惑うことも沢山あったが、それなりにそつなく行うことができた。宵祭は初めての試みで、これからグレードアップしていくのではないかと思う。また、人の流れを一方通行にして、車山が通るところに出店があると邪魔になるので、規制できないのかと思った。駅前通りは片側だけになったのは良かった。
- ・本町：宵祭は自町内はできなかったのですが、今後の課題として検討していきたい。試楽本楽は、三年ぶりで心配だったが、特に不具合や事故もなく運行ができてほっとしている。一番よかったのは、下山の子供たちが、力を入れて演奏してくれた。夜車山の飾り付けの手伝いも参加してくれて非常にいい状態になってきた。このままうまく世代交代をしていきたいと思う。
- ・余坂：宵祭については参加できなかったが二日間非常にいい祭だった。電線に梵天をひっかけ修理の時間をとられることもあった。また、御神輿が、余坂の町内がからくり奉納する前に出て行ってしまわれた。犬山祭の本分は車山のからくり奉納を神様に見ていただき喜んでいただくことだと思うので、からくり奉納する前に御神輿が行ってしまわれるのはどうなのか、ということで町内の者からも意見が出た。犬山祭保存会においてこういった問題を共有していただき、今後こういったことがないようにということで、申し上げた。よろしくお願ひしたい。

- ・下本町：宵祭はとても良かった、車山に提灯を着けるなど今後グレードアップしていければよいと思う。試楽本楽については、時間がタイトで、交通規制が8時になっているが、一時間早くして、7時などにしてもらい、もう少しゆっくり祭を楽しみたいと思った。楽しいお祭でよかったと思う。
- ・枝町：宵祭は少し寂しいところはあったが、前祝いの気分を高めるという意味もあり、結果的にはやってみてよかったと思う。試楽本楽については天気も良く時間も空いた中で、皆さんもやる気十分の中で、タイムスケジュールが厳しい中で、試楽が遅れまして、お叱りも頂戴した。

また交通規制の問題があり、空きスペースがなく、時間がかかってしまう。8時交通規制、8時出発というのはやはり無理であり、少し余裕を見た運行スケジュールを作ってもらえると、円滑に進むのではないかと思う。

試楽本楽の全体にかかる時間について。提灯をつけた夜車山が夕方から夜22時までやると、ろうそくが早く無くなってしまう。22時前で途中でろうそくがなくなりそうになり、最後初上がりの子供も家の前で担ぐ時にろうそくが垂れて、金襦袢にかかったり等、火傷のリスクもあった。もう少しコンパクトな運行にしていけたらと思う。

- ・魚屋町：宵祭は少し早めからやって、20時くらいまで蔵を開けて、非常に良かった。照明を用意していただきライトアップすると綺麗だったので来年も続けてもらいたい。

試楽本楽については、本楽のどんでんで、てこが一人ケガをして救急車も呼んでいただきご迷惑をおかけした。過去にも同様のどんでんのケガがあり、事前の注意はしていたが、そのような結果となった。本人は、完治にはいたっていないが今は通常に生活している。

個人的意見として、朝に時間がかかった。交通規制を早めていただけると余裕のある進行ができるのではないかと思う。またお祓いやセレモニーを見ていた印象として、常設のステージがあれば良いのではと思った。あれだけの観衆がいると、遠くの人からは良く見えない。特に夜のセレモニーでも、あのステージで照明一つだと

ほとんど真っ暗で見えないので、常設のステージを設けて皆さんから見える状態でやれば良いのではと思う。

- ・新町：宵祭について、土曜日朝の準備の前準備という感じになり、土曜日朝の仕事が軽減されて良かったという反面、金曜夜にスタッフを集めるというデメリットもあった。

試楽本楽は天候も良く、何も心配することなくタイムスケジュール通りできるのではと思っていたが、数年間のブランクがあるせいか祭をやっている最中の体内時計の感覚がずれているところもあった。

また、夜車山の総揃えは是非やりたいと思っている。昼間あれだけ揃えてアピールできたのだから、若い世代に見てもらえるようにやっていただけたらと思う。

- ・熊野町：宵祭について、SNSで宣伝もしてもらえたため、大盛況だった。車山を道路の際まで出して、照明を当ててやった。神社の中を4往復ほど曳いて、喜んでいただけた。来年もやっていいのではないかと思う。

試楽本楽については、特に問題はなかったという連絡を受けている。

- ・専務理事：練り物三町内について。練り物係として付いていたので報告させていただく。坂下大本町の小母衣と、内田の餌差鉄砲組について、子どもが小さくて、衣装が非常に重くて、父兄が全て付いていなかったこともあり子供がぐずってしまうことがあった。愛知大の方にも手伝っていただけたが、来年からは子供について、世話役をボランティアに任せる必要がある。

- ・副会長：御神輿について、余坂の時間前に出てしまったことについてお詫び申し上げる。町内と一度話し合って、良い方法で出していただき、時間もなるべく早く出して神輿も順序よく出られるようにしたいと思う。今年の担ぎ手は25名しかいなかったもので、台車で引っ張っていこうという案も出たが、どうしてもやらせてほしいということで、頑張って担いでいただいた。無事に時間通り神社に付く事ができた。町内との話し合いをして、いい方向で時間を決めていきたい。

- ・会長代行：タイムスケジュールについて実状に合っているのかという検討を踏まえてもう一度組み直す、車山の運行経路も見直すなど、それぞれの委員会で練り直し

ていただき、スムーズにやっていけるようにしていただきたい。暑さで救急車がたくさん来たことも原因の一つである。実状にあったタイムスケジュールを作っていく。本楽も、2輛目が入ってくる時点で30分遅れていたなので、どのように進めていくかの検討をしていただきたい。

今後の課題について理事の皆さんからいただいたので、各委員会で練ってやっていただきたい。

10月21日、22日の秋の城下町まつりについて。方向性については、からくり町巡りということで進んでいるが、すぐに道路規制等の話が入ってくるので、次回町内に持ち帰っていただき、どの方向性で行くのか、役員会でも話をするので、それを含めて進めていきたい。

- ・専務理事：祭が終わってから、観光協会に、喫煙についての苦情が三件あった。てこさん達はしっかり守られているが、車山についている町内の人が休憩中に喫煙していたということであった。コロナの一年前に、車山に煙草の灰皿がついていたということで文化庁の方から非常に苦情を言われた。その時反省会を開き、文化財に灰皿を置くのはいけないだろうと言ったが、現在でも休憩中に煙草を吸っているというのは良くないので、またこの問題については皆さんで考えていきたいと思う。
- ・会長代行：てこさん達について、飲酒については気にはならなかったので良かったのではないかと思う。

続いて、令和5年度の保存会総会について説明をしていただく。

- ・専務理事：総会議案書について案を作成したので、また皆様方には持ち帰って頂き確認をしていただきたい。

各委員会からの報告について、どのような会議だったのかについても併せて記載した。税理士からの資料について、会計がまた別にまとめていただいたので、そちらを見て理解していただきたい。

国庫補助の事業内容について、魚屋町の0円となっているのは、文化庁が全て出すという形で賄われたという意味である。

- ・企画広報副委員長：一般社団法人の理事は二年で満了になる。常任理事の方は全員引き継ぐということになる。町内の理事の方は枝町、新町、余坂、鶴飼町の4名が新しく理事となるので、住民票を次回の理事会にもってきていただきたい。

総会の位置づけについて。一般社団法人の社員総会がこの理事会のメンバーとなるので、5月20日の理事会が社員総会となる。6月のフロイデのものは会員総会となる。

- ・専務理事：令和5年度活動方針の案について。重点項目について、来年春の祭、今年の秋をどのようになるか。祭屋台等製作修理技術者会との同時開催となり、皆様に一緒に見ていただき、さらに町の活性化に寄与するために行う。また、車山とからくりの修理の促進。また9月17日に日本の祭りシンポジウムが行われる。保存会の方々も多数ご参加いただきたい。また一年中通じてお囃子やからくりの練習をしていただく。保存会HP、Facebookの充実、また以前から言っているように、今年度は保存会設立50周年ということで、50周年誌の発刊委員会を作ってやっていただくということである。

資料について。お祭の前準備と後片付けについては、今後保存会でやろうということで、保存会の幹部数名でやるということで今回は省略した。

委員会名簿について間違いがあればご連絡いただきたい。

- ・会長：役員一覧に、監事を追加した方が良いのでは。
- ・専務理事：監事を追加する。次回の常任理事会で確認する。
- ・会長代行：持ち帰って熟読していただき、20日までにお気づきの点があれば事務局までご連絡いただきたい。
- ・専務理事：今後の予定について。5月20日に総会事前承認としての理事会を行う。6月16日に北小白帝ワークを行う。それぞれの班に分かれて各町内にお邪魔する予定。車山蔵のところで対応していただきたい。どんでん館は4班に分かれてそれぞれ町内のお話をしていただきたい。名栗町は車山を解体されているということだが、子どもさんの質問に答える形で対応していただきたい。

- ・本町も車山がないので、余坂でやらせていただく予定。
 - ・専務理事：そのように北小に通達する。練屋町も車山蔵の前で話をしていただきたい。
- 6月24日にフロイデで総会を行う。100名ほど入る部屋なので、広く色々な人を誘って参加していただきたい。
- 9月、10月以降のことも皆さんと協議してやっていきたい。
- また、本町車山蔵修理のために車山を余坂の車山蔵に入れるということで、5月14日の早朝に移動する。警察からの許可も取ってあるのでその通りに対応していただきたい。
- ・本町：大変ご迷惑をおかけしますがよろしくお願いします。
 - ・専務理事：春の全国交通安全運動行事が扶桑のイオンで5月15日（月）に行われるのでご参加をお願いしたい。
 - ・会長代行：各委員長さんからご意見をうかがいたい。
 - ・企画広報委員長：今年の祭では、小学生のアナウンスを北小と打ち合わせして進めた。大変良かったと思うし、また来年以降も違う学校と順番にやっていく予定。また時刻について、企画広報としてはタイムキーパーとして日曜にお手伝いさせていただいたが、朝の30分の遅れがそのままずっと続いて、色々なことが起きたというイメージを持っている。今まで余坂の車山を曳きながら針綱神社前でお手伝いをさせていただいたが、今回初めて神社前でお手伝いさせていただいて、てこ委員の方は大変な思いをされているということを実感した。救急車が入ってきて、車山が動いて場所を作ったりなど、指揮命令系統というところでてこ委員長の指示に従って頂ければと思う。天候も良く、宵祭も成功していいお祭になったのではないかと思う。この秋のことや、50周年に向けて車山を出したいという意見も出ているので。議論をしながら進めていきたいと思う。
 - ・昨年度第8回の議事録で、時間の表記がずれている。15時30分くらいに外町の中からくりが終わると表示されている。

- ・会長代行：15時30分に終わるといふ正しい資料をもとに当日も行われた。
- ・てこ委員長：時間としては、最終は15時30分で御神輿が出るというものです。
- ・会長代行：今回の意見を参考にして、次回の常任理事会で色々なことを決めさせていただきたい。
- ・企画広報副委員長：コロナ感染が始まって以来、皆さんには健康チェック等ご協力をいただきありがとうございました。今月で5類に相当に引き下げられ、WHOからも緊急事態の終焉を迎えたという声明も出たので、今後秋に向かって、よほどのことがない限りこういった対策はないと思うが、今回、皆さんと色々話し合っただけ緊急事態に立ち向かっていけたのはとても心強かった。ご協力いただき本当にありがとうございました。
- ・副委員長：4月22日に練屋町で車山の解体をした。軽微な事故があり保険屋の方にもご迷惑をおかけした。解体の結果、屋根周りの桁に亀裂が入っており、中嶋工務店に修復の見積もりを依頼している。屋根を受ける大部分のところなので点検する必要がある。
- ・会長：大変前向きなご意見をありがとうございました。私のところにも色々なご意見が寄せられたが、てこ委員会の時にこの一人から、車山おろしや車山組みをしっかりやらないと危ないですよというご意見があった。これはとても大事なことで、定期的に一年に一回は車山を解体して組み立てて、てこの幹部は組み立て方も頭に入っているというのが大事であると思った。これは行政も含めて厳重にやっていきたい。また夜のセレモニーについて、もっと統一をとった方が良くはないかというご意見も出ている。試楽の夜は会場を分けて、駅前にはセレモニーを来賓に向けてやる。セレモニーは主催者の意志の方向を一つにするものであるため、片方はやってもう片方はやらないというのは意味がなくなる。セレモニーは一つに統一するうえで、場所をどうするかということについて、これは皆さんで考えていただきたい。皆さん、この提案をたたき台としてより良い物として案を練り上げてほしい。

また、時間をコンパクトにした方が良くのでは、巡行するエリアが広すぎるのでは、というご意見もあった。また巡行の順序について、この順序によって不公平が

生じている。祇園祭はくじで決まっております、公平である。また、巡行はどうしても遅れが出る。タイムキーパーがしっかりしていても必ず遅れが出る。そしてそのしわ寄せが余坂や外町に行ってしまう。順序をフェアに考える改革も必要ではないかと思う。

最後に、犬山署が露店を規制したがついている。露店の側から、昔からの慣例であると言われると、警察としては引っ込んでしまうところがある。なので、保存会から、屋台の方に、車山が通るところは少し考えて欲しいという要望を出したら警察も話がしやすくなるとのことだった。ここも整理をしなければならないテーマである。

また皆さんで議論をして少しでも前進していきたい。若い人たちが主人公であり、それぞれのアイデアと時代感覚で犬山祭が運営される方向に皆さんで応援していきけるようにしていきたい。各委員の方々も皆さん頑張って下さった。皆さんよろしくお願ひします。。

- ・会計：各ご町内の助成金について市役所で決済が組みあがり、5月20日か30日ごろに振り込まれるとのことなので、次回理事会以降にお渡しできるのでそのようにご町内にもお伝えください。
- ・会長代行：常任理事会が5月16日からくり館二階で行われるのでお願ひします。

●次回日時

令和5年5月20日 19:00～

●次回場所

からくり館二階

●記録日

令和5年5月13日

●記録者

竹村

●署名

石田芳子

多和田兼道